

第18回

参加
無料

のしろ 市民まちづくり フォーラム

日本風景街道を通して私たちにできること



令和
6年

12月5日 木

14:00～17:00 (開場/接続開始13:30)

能代市旧料亭金勇 大広間

(秋田県能代市柳町13-8)

テーマ

風景街道による持続的な地域づくり

のしろ市民まちづくりフォーラムは、「のしろ白神ネットワーク」が日本風景街道の活動の一環として、広く市民へ参加を呼びかけ、平成19年2月から開催しています。県内外の先進事例や専門家の知見を共に学び、「民学官が連携して出来ることは何か?」を実践に向けて考えることを目的としています。

今回は愛媛県と北海道から講師をお招きし、学校や教育機関と連携した取り組みや、地域の歴史・文化を次世代へ継承する取り組みを学び、今後、秋田で出来ることは何かを考えます。

申し込み方法

右記までお申し込み下さい。Zoomウェビナーによるオンライン参加を希望される方はメールに必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。後ほどウェビナーの登録URLをお送りしますので改めてご登録をお願いいたします。

オンライン参加 先着100人 会場参加 先着70人

TEL 018-864-6069 申込締切 令和6年12月2日(月)

メール noshiro_forum@hansoku.co.jp

①氏名(ふりがな) ②所属 ③お住まいの地域(市区町村名) ④年代 ⑤電話番号



のしろ白神ネットワーク

のしろ白神ネットワーク事務局 TEL 0185-52-6900

〒016-0876 秋田県能代市海詠坂11-1 (秋田県立大学木材高度加工研究所内)

主催/のしろ白神ネットワーク 協賛/一般社団法人東北地域づくり協会

後援/秋田魁新報社・秋田県山本地域振興局・秋田県立大学木材高度加工研究所・NPO法人日本風景街道コミュニティ・国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所
東北風景街道協議会・東北「道の駅」連絡会・NEXCO東日本秋田管理事務所・能代市・八峰町・藤里町・北羽新報社・三種町



ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/nsnw>

のしろ白神の道

検索

プログラム

開会挨拶

のしろ白神ネットワーク 代表
能登祐子氏

趣旨説明

秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授
渡辺千明氏

第一部

みちと文化の継承： 南いよ風景街道の取り組み(仮題)

愛媛大学社会共創学部 教授
羽鳥剛史氏

第二部

ヒストリック・バイウェイの活かし方 ー米国や北海道の事例からー

(一社) 北海道開発技術センター 理事(地域政策研究所長兼任)
(一社) シーニックバイウェイ支援センター 理事(事務局長兼任)
NPO法人 日本風景街道コミュニティ 理事
認定NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム 理事
原文宏氏

フロアディスカッション

羽鳥剛史氏
原文宏氏

コーディネーター
渡辺千明氏

日本風景街道 渥美半島菜の花浪漫街道(愛知県)
愛知県田原市都市建設部 建設調整監
田原市自転車活用推進協議会 副会長
渥美半島アドベンチャーツーリズム アドバイザー

志賀勝宏氏

開会挨拶

※会場には駐車場がありません。
お車はイオン能代様駐車場か
市役所駐車場をご利用下さい。



はとり
つよし
羽鳥剛史氏



1980年大阪府生まれ。
2006年に京都大学卒業後、東京工業大学助教を経て、現在、愛媛大学社会共創学部(環境デザイン学科)教授。博士(工学)。専門は土木計画学、合意形成論。愛媛県の南いよ風景かいどう協議会会長、(一社)西予市移住定住交流センター代表理事、NPO法人日本風景街道コミュニティ理事、シーニックバイウェイ北海道アドバイザー会議委員等を務める。

はら
ふみひろ
原文宏氏



1955年 北海道赤平市生まれ。
日本風景街道の先駆けとなったシーニックバイウェイ北海道の企画段階から参画し、モデルとなった米国のシーニックバイウェイや北海道を含む全国の日本風景街道に関する調査や活動支援を行っている。
最近は、「人をつなげるシーニックバイウェイ・プロジェクト」として、開拓や探検で北海道に貢献した「人」に焦点をあてて、北海道と本州の風景街道同士の交流を促進したり、学校教育の中で、教育関係者との連携から学習指導要領にあわせたシーニックバイウェイ北海道の教材化及び授業実践を広めている。

しが
かつひろ
志賀勝宏氏



1967年 愛知県生まれ。
1987年 建設省(現国土交通省)入省。
主に中部地方の国道・高規格幹線道路の計画・建設、広域地方計画等に携わり、道の駅、日本風景街道、街道交流、自転車活用政策、ITS、自動運転など担当。愛知県田原市に出向し地方創生を担う。
2023年 国土交通省を退職し田原市へ就職。道づくり・街づくり・地域交流の推進を行っている。